

研修レポート

豊橋市民病院

新城市民病院での研修は大きく分けて3つに分かれていました。

まず一つ目は新城市民病院内での研修で、総合内科外来、病棟管理、救急当番がありました。豊橋市民病院と新城市民病院は同じ市民病院ではありますが、病院の機能の違いに驚かされました。豊橋市民病院は東三河地方の基幹病院で超急性期の患者さんや専門性の高い治療が必要な患者さんが集まり、新城市民病院は急性の患者さんから慢性期の患者さんまでと様々でした。新城市民病院の総合内科の外来では、患者さんの小さな訴えにも耳を傾け経過観察をし、病棟管理でも社会背景に合わせて治療を行うことができました。患者数が多く時間に追われている豊橋市民病院とちがい、新城市民病院は患者の訴えに寄り添う医療だと感じました。救急当番は日中の救急車の対応をしましたが、搬送の範囲が広く到着までに時間がかかる点と検査の閾値が高い点が豊橋と違いました。Wernicke 脳症の患者さんがいたことはとても印象に残っています。

二つ目は訪問介護や訪問リハビリ、助産所の見学をさせていただきました。訪問看護の必要性や助産所の運営については社会的な事情がたくさん絡み、政治と医療の強い結びつきを知り、行政サイドの医療に興味を持ちました。

三つ目は毎朝の勉強会や Up To date といった総合内科の勉強会です。朝の勉強会は先生方の選ぶ題材がいつも素晴らしく、気になっていたけど自分で調べてなかったというように知りたいことを毎日少しずつ学ぶことができ大変勉強になりました。その分、自分の発表にも力を入れました。また、週1回の UpToDate でも同様のことが言え、先生方の学ぶことへの意識の高さを感じました。

事務の方から、看護師さん、患者さんまで皆さんが優しく、とても働きやすい環境でした。総合内科の先生方や整形の先生もいつも優しく指導していただき、この1か月で医師として働くことの醍醐味をぎゅっと経験させていただいたように思います。この経験を生かし、時間に忙殺されず患者さんに寄り添う医療を目指していきたいです。最後になりますが、先生方や看護師さん、事務の方、コメディカルの方すべての方に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。